

科目名	使用教科書・副教材等	単位数	学科・学年
「工業技術基礎」	工業技術基礎（実教出版）	2単位	土木科・第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	工業に関する基礎的な技術を実験や実習によって体験し、各分野における工業技術への興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解させ、広い視野と倫理観を養い、工業の発展をはかる意欲的な態度を身に付ける。
---------	--

2 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查
1学期	1 基本作業 (1) 関数電卓の使い方 2 水準測量 (1) 水準測量の用語 (2) 器械のすえつけ・標尺の読み 野帳の記入・野帳の計算 (3) 水準測量実習	4	・基本的な関数キーの使い方を習得する。 ・四則・関数・実務の計算方法を習得する。	中間
		5	・器械の名称、すえつけ、標尺の読み、計算方法を身に付ける。	
		6	・主体的に測量に関する基礎的な技術について関心を持ち、意欲的に測量器械を活用する創造的、実践的な態度を身に付ける。	期末
		7		
2学期	2 水準測量 (3) 水準測量実習 3 木工製品製作 4 橋梁模型製作 (1) 橋梁模型の図面作成 (2) 橋梁模型製作	8	・実践的な測量技術の知識を習得し、測量実習を行うことによりその技術を習得して、日常生活の中での測量の意義や役割を身に付ける。	中間
		9	・精度の高い水準測量を身に付ける。	
		10	・木材とコンクリートに関する基礎的な知識を主体的に身に付け、その活用について意欲的に取り組む態度を身に付ける。	期末
		11	・主体的に橋梁のしくみやその設計に関心を持ち、模型製作に意欲的に取り組み、構造上安全で合理的な部材の組み合わせを工夫する実践的な態度を身に付ける。	
		12		
3学期	4 橋梁模型製作 (2) 橋梁模型製作 5 知的財産教育 (1) 著作権の学習 (2) 発明教室への参加	1	・橋梁模型の製作を通して、合理的な橋梁設計の基礎的な知識と技術を身に付け、生産活動における橋梁工事の社会的意義や役割を身に付ける。	学年末
		2	・知的財産の意義とアイデアを生み出す知識を身に付け、具体的な発想法を生かして、社会の発展をはかる創造的・実践的な技術を身に付ける。	
		3		

3 評価規準及び評価方法

(1) 評価規準

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	工業の各分野に関する基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和の取れたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技術を身に付けている。	工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身に付けている。	工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身に付けている。

(2) 評価方法

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
方法	授業中に実施する課題や実習内容の精度等で総合的に評価する。	適切な作業手順を考え、作業内容の良し悪しを判断できているのか、発表内容及びレポートや班別活動、プレゼン内容等で総合的に評価する。	興味関心を持って自主的に取り組み、熱心に作業する態度を身に付けているのかを振り返りシートの内容や自己評価及び相互評価等で総合的に評価する。

4 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・実習は班別に活動するので、班員と協力しながら取り組んでください。 ・最新の測量器械を使用しますので、取り扱いや活用方法を意欲的に学習してください。 ・レポート、課題プリント、作品等の提出は、期限を厳守してください。
--